

第1章

2040年の姿

県民意見の反映

県民が自分ごととして捉えることのできる2040年を“少し先”の未来として設定し、新時代に咲き誇ったイメージについて、多様な手法により、未来を担う若い世代をはじめとする多くの県民から御意見をいただきました。

(1) 知事と県民の意見交換会

県内9か所で開催し、300人以上の方々に参加いただき、秋田の未来に対する率直な御意見や熱い思いを直接伺う機会となりました。



(2) 大学生等とのワークショップ

「グラフィックレコーディング」という手法で学生
の声をリアルタイムに可視化し、若者たちの自由な
発想や未来への願いを共有しました。

県外の人を引きつける「とりこになる秋田」など一人ひとりの思いを大切にしながら、ともに秋田の将来像を描きました。



(3) 県民向けアンケート

1,589人の方々から回答をいただき、自由記述欄の「将来の秋田に望むこと」を「テキストマイニング」という手法で分析し、県民等が抱く願いや課題意識を可視化しました。



回答者の自由記述から作成

(ユーザーローカルテキストマイニングツールによる分析)

(4) SNSでの対話

若い世代の声をより広く集めるため、計画策定のための公式Instagramアカウントを開設しました。フォロワーからのコメントやアンケート機能を通じて、これまでの広報では届きにくかった層の率直な意見やアイデアに触れることができました。



「知事と県民の意見交換会」や「大学生等とのワークショップ」でいただいた意見のほか、アンケートやInstagramなどで寄せられた意見を踏まえ、「こんな秋田で暮らしてみたい」、「秋田はワクワク感がいっぱいある」といった、県民が将来に希望を持てるイメージを、一枚の絵として表現するものです。

天候にかかわらずのびのび遊べる施設が県内各地にあふれており、幅広い年代の子どもたちが地域の方々と交流しながら、元気いっぱい遊んでいる

性別・世代・国籍にかかわらず幅広い世代が自然を楽しみ、伝統文化に親しみながら、自分らしくのびのびと暮らしている

祭りや自然、美食、スポーツなど秋田の魅力が余すところなく引き出され、季節を問わず国内外から多くの人々が訪れる観光立県が実現している

クルーズ船でにぎわう港を起点に、整備された交通網でたくさんの人々が行き交っている

音楽や演劇、芸術など多彩な文化芸術に触れる機会が満ちあふれ、県民の生活を彩っている

農林漁業に先進技術が普及し、楽しく稼げる産業として、幅広い世代が活躍しており、地域に元気があふれている

秋田の農畜産物のブランド化が進むとともに、陸・海・空路から国内外に次々と運び出され、販売されている

企業が新しい分野へ果敢に飛び込んでイノベーションを巻き起こし、生産性が飛躍的に向上している

ビジュアルイメージ

デジタル先進県として世界をリードし、中小企業が力強く経済を牽引して賃金がどんどん向上している

再生可能エネルギーやIT等の夢を叶えられる仕事が集積し、魅力的な職場の多い秋田に人が集まってくる

県内各地に医師がいてデジタル技術を活用した医療の導入が進んだ秋田では、どこにいても安心して医療が受けられ、誰もが住み慣れた場所で暮らしている

県民みんなが健康づくりに取り組んでおり、病気や障害、年齢にかかわらず、誰もが人生の主役として輝いている

子どもたちが秋田の価値や魅力を認識しながら、地域に誇りをもっている大人と語り合い、夢をふくらませ、秋田での将来を描いている

インフラが整備された強い県土を持ち、県民が地域社会全体で災害に備えながら、安全・安心に暮らしている

クマなどの野生鳥獣と人との共生が実現して人身被害がゼロになり、日本一安全・安心で快適に暮らせるまちとして注目されている

脱炭素の最先進県となった秋田では、林業などの県内産業が発展するとともに、再生可能エネルギーが地域を潤している

2040年の姿を見据えて

この計画では、基本理念（寛容・挑戦・安心）のもと、2040年の姿を見据えながら、「新時代に咲き誇る秋田」の実現に向けて、行政分野毎に体系化された八つの政策を推進します。

これらの政策が織りなす“三つの輪”が互いに連携し、好循環しながら、相乗効果を発揮することで、将来にわたって持続可能な地域社会を構築するための新たな価値を創造します。

また、県民一人ひとりが、こうした社会の実現に向けて取り組むために不可欠な「将来への明るい展望」を描けるよう、本県が抱える大きな課題である人口減少問題への対応に重点的に取り組みます。

